



よさこい高知
文化祭2026

BANDAI NAMCO

Fun for All into the Future



“いいもの”をつくり続ける

We create “Awesome works”

高知県アニメ プロジェクト

KOCHI ANIME PROJECT

アニメ業界を志す若者たちへの特別対談

DAY 1 **8/1** [土]
の 15:10~16:25(予定)

DAY 2 **8/2** [日]
の 10:20~11:50(予定)

DAY 1
8/1 [土]
15:10~16:25(予定)

『オッドタクシー』『ホウセンカ』など
アニメーション監督・イラストレーター

株式会社バンダイナムコフィルムワークス
代表取締役会長

木下麦 × 浅沼誠

若き監督に聞く、アニメの現在地
— 音楽・カルチャー・ビジネスから考える作品の届け方 —

DAY 2
8/2 [日]
10:20~11:50(予定)

『映像研には手を出すな!』など
漫画家・アニメーター

株式会社バンダイナムコフィルムワークス
代表取締役会長

大童澄瞳 × 浅沼誠

「描く」から「動く」へ
— 漫画がアニメになる瞬間 —
『映像研には手を出すな!』に見る、創作の広げ方

高知市文化プラザかるぽーと7階
第1・2展示室(第35回まんが甲子園 特設ステージ)
〒781-9529 高知県高知市九反田2-1

【参加料】無料
【定員】200名
【対象】県内の中高生・大学生・専門学校生など

お申し込み
はコチラ



まんがの聖地で、アニメを語る。

第一線で活躍するクリエイターと、未来を創るキミが交差する。

2021年放送のサスペンス・ミステリーアニメ『オッドタクシー』で初監督を務め、映画『ホウセンカ』でも話題を集める、異才の若きアニメーション監督、木下麦。

高校生によるアニメ制作を題材にした『映像研には手を出すな!』の作者であり、漫画のみならずイラスト、映像、アニメーションなど多彩な領域で活躍するマルチクリエイター、大童澄瞳。

そして、ガンダムシリーズや『転生したらスライムだった件』シリーズなど、数々のアニメ製作を手掛けてきた株式会社バンダイナムコフィルムワークス代表取締役会長、浅沼誠。

“監督”、“漫画家”、“プロデューサー”——それぞれの視点から語られるのは、創作の喜びと厳しさが入り混じる、アニメクリエイターという仕事のリアル。

アニメ業界を志す若者たちへ。まんがの聖地で交わされる言葉は、きっとキミの未来を切り拓く力になる。

映像・アニメーションの次代を担うキミたちに贈る、特別なトークイベント。

木下麦

KINOSHITA BAKU

アニメーション監督・イラストレーター

1990年生まれ。多摩美術大学在籍時からイラストレーター/アニメーターとして活動。

P.I.C.S.入社後、アニメーターや監督補佐としてCMやミュージックビデオなどの制作に関わる。2021年、TVアニメ『オッドタクシー』で自身初となる監督、キャラクターデザインを担当し、大きな話題に。2025年10月公開の映画『ホウセンカ』で初の長編映画を手掛け、アヌシー国際アニメーション映画祭の長編コンペティション部門に選出。同作は国内外の多数の国や地域で上映された。現在はP.I.C.S. managementに所属。



©P.I.C.S./小戸川交通パートナーズ

大童澄瞳

OOWARA SUMITO

漫画家・アニメーター

1993年、神奈川県出身。東洋美術学校絵画科卒業後、独学でアニメーションを学ぶ。コミティアへの出品をきっかけにスピリッツ編集部目に留まり、2016年より『月刊！スピリッツ』にて『映像研には手を出すな!』の連載を開始。同作は「プロコミックアワード2017」大賞を受賞し、『このマンガがすごい! 2018』オトコ編15位、『THE BEST MANGA 2018』このマンガを読め! 7位に選出されるなど高い評価を得る。2020年にはTVアニメ化、実写ドラマ化・映画化され、国内外で大きな話題を呼んだ。近年は漫画制作に加え、キャラクターデザインやイラスト、映像関連の企画にも活動の幅を広げている。



©大童澄瞳/小学館

浅沼誠

ASANUMA MAKOTO

株式会社バンダイナムコフィルムワークス
代表取締役会長

1963年、東京都出身。バンダイナムコフィルムワークス代表取締役会長。1986年に株式会社ネットワーク(後にバンダイと合併)に入社後、バンダイネットワークス、バンダイナムコゲームス、バンダイナムコオンラインなどを経て、アニメ・音楽・ライブイベントを統合したIP戦略の中核を担う。サンライズ代表取締役社長を歴任し、2022年よりバンダイナムコフィルムワークス代表取締役に就任。ガンダムシリーズや『ラブライブ!』シリーズ、『転生したらスライムだった件』、『ブルーロック』など、数多くの作品や事業のプロデューサーに関わり、国内外の映像産業に大きな影響を与えている。2026年より現職。



©サンライズ

高知県アニメプロジェクトとは?

アニメクリエイターを育成し、アニメ関連企業を誘致することで、県内にアニメ産業を集積し、雇用創出や地域産業活性化につなげることを目指す、高知県によるプロジェクトです。アニメクリエイター講演会は、アニメ業界のトップクリエイターを本県に招き、県内の生徒や学生等にアニメ制作の魅力等を伝えることで、アニメの仕事への関心を高めてもらう機会を提供する取組です。

お申し込みはコチラ

